

2019年10月7日全学環境安全管理室等会議・事故災害報告(要約)

#### ・休業4日以上

**19135I** 助教(男性:42歳);当直業務中、浴室から出る際、滑って転倒し、左鎖骨を骨折した。休業5日。

#### ・休業4日未満

**19127M** 補佐員(女性:35歳);業務中、大型供血犬に飛びかかれ、倒れてドアノブに鼻を強打し骨折した。休業1日。

**19130M** 教授(男性:59歳);猛暑の日に居室のエアコンが故障し熱中症になった。休業2日。

**19152M** M2院生(女性:24歳);植物の伐採作業中、チャドクガの幼虫に触れて皮膚炎を発症、皮膚科を受診し、軟膏による治療を受けた。休業3日。

#### ・不休業事故・災害

**19063F** D1院生(男性:25歳);自転車登校時に路上にてスリップし、擦り傷を負った。

**19120F** 学部3年(男性:20歳);野外実習宿泊所の入浴場で転倒し、顎を切創した。

**19121F** M2院生(男性:24歳);森林調査中にアシナガバチに刺された。

**19122F** 研究員等(女性:25歳);レントゲン撮影に伴う保定の際に、薄手のエリザベスカラー越しに患畜(猫)に噛まれ、手のひらを負傷した。

**19123F** 技術・教室系職員(女性:37歳);林況調査中にクロスズメバチに手首を刺された。

**19124F** 事務・図書系職員(女性:43歳);暴れる患者を止めようとして暴行を受け、頭部打撲等を負った。

**19132F** D1院生(男性:26歳);購入したばかりのラットを背中側から保定しようと掴みにいったところ、拘束から逃れられてしまい、右手中指を咬まれた。

**19134F** 事務・図書系職員(女性:45歳);講義室内の段差につまずき右膝に創傷、左頬に打撲を負った。

**19137F** 事務補佐員(女性:44歳);出勤後、吐き気をもよおし複数回嘔吐の後、トイレで動けなくなったため、病院に搬送、胃腸炎と診断された。

**19142F** 医療・看護系職員(男性:29歳);解剖中、臓器の切り出し時にハサミが左示指に突き刺さった。

**19147F** 教授(男性:45歳);専攻主催のサッカー大会の練習中にアキレス腱を断裂した。

**19148F** 事務補佐員(女性:54歳);入り口から上半身を出して閉室の表示を掲示したのち、部屋に戻る際、閉まってきたスチール製のドアで頭を強打した。

**19149F** 准教授(男性:46歳);出張先の空港内で段差に躓き転倒、頭部負傷および左手薬指骨折を負った。

**19151F** 技術・教室系職員(女性:40歳);試験地測定作業中、スズメバチに2カ所刺されたことにより体調を崩した。

#### ・ヒヤリハット。人的被害と物的被害なし

**19136H** 部局主催のビアパーティで、使用したガスコンロの炎でガスホースが焦げた。

#### ・人的被害なし、設備災害でない機器・施設損傷あり

**19143Nd** 高温高圧粒子合成装置の立ち上げを開始して約5分後に、建物管理室の監視盤で漏電が検知された。装置電源を落として装置内部を確認したところ、温度測定用の熱電対が本来の位置からずれ、電気炉の電熱部に接触していたために漏電していたことが判明した。

**19150Nd** 定期点検にて漏電を確認、建物受変電設備において停電のうえ不良個所を特定・修繕を実施した。

#### ・人的被害なし、設備災害でない有害物(臭)流出あり

**19125Ni** 実験材料をアセトン、2-プロパノールで洗浄する作業をダクトレスのヒュームフード内で行っていたところ、隣室からアセトン臭がすると連絡があり、実験を中止した。原因は長期間ヒュームフードのフィルターを交換していなかったためであり、応急措置として換気口をガムテープで封鎖し、クリーンルームでの薬品使用を禁止した。

**19131N1** 局所排気装置の排気ダクトの継ぎ目に腐食によって穴があき、酸が漏れたことで咳き込んだ。

以上 教養学部等環境安全管理室